

おわりに

東日本大震災から4年の歳月が経とうとしています。全国からの多くの支援により、復旧・復興が進む中で、農業農村の復旧・復興現場でも、被災者の並々ならぬ御努力と被災された関係自治体職員の御奮闘と国や関係機関の支援により営農再開地域は拡大しつつあります。

（独）農研機構 農村工学研究所では、微力ながら被災地の復旧・復興に貢献するため、防災・減災の研究開発と情報発信に努め、今もその力を緩めることなく、さらなる復旧・復興の推進のための支援を続けております。

当所ではこれまでに、平成24年3月に「東日本大震災の被災状況と技術的課題」と題した支援活動報告、同年5月には「農村工学研究所技報第213号」で震災特集号として技術報告を発刊、震災からの復旧・復興のための実用新技術の成果選集等も公表して参りました。

ただ、どうしても研究という性格上、研究論文や成果報告、技術書等の専門的な文書だけでは十分に当所の研究成果を国民に伝えられないのではないのか、また、その研究成果の背景にある調査過程、実験状況、調査視点や研究者の現場での体験そのものも、役に立つ価値ある情報として全国の農業農村の防災・減災に携わる多くの方々に知ってもらうべきではないのかという想いが募り、今回この調査研究フォト資料集を作成いたしました。

当所としても、今までにない初めての試みであり、写真選定、整理方法等については苦心したところですが、復興に携わる多くの皆様、さらには将来起こりうる大震災に向けて参考となる資料となっていることを期待します。今後も、科学的な根拠を明確にし、信頼あるデータの提供を含め、わかりやすい研究成果の発信に努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

東日本大震災の復興が一日でも早く実現することを祈念し、編集後記のことばといたします。

平成27年1月

農村工学研究所企画管理部長 山本徳司